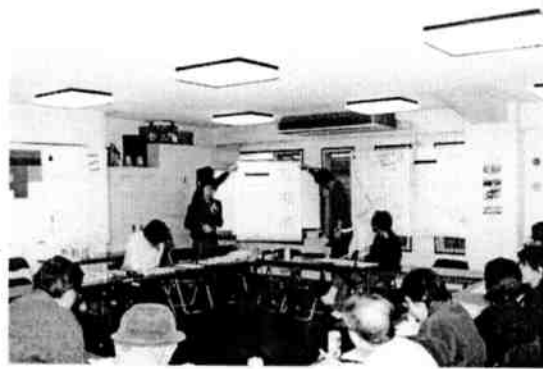


LM住環境新聞

芝浦工大 三浦研究室です

約半年振りですが、覚えていらっしゃいますか？



昨年7月にアンケート調査を行い、10月3日に騒音調査、12月3日に夜間照度調査、12月11日、12日に二酸化窒素濃度調査を、住民の皆様が主体となり三浦研究室がサポートする形で実施しました。そして、今年の2月に自治会館にて、ライオンズマンション大宮指扇の住民の皆様との懇談会を行いました。懇談会では、騒音や空気の汚れ、夜間照度の実測結果をもとに、マンションの住環境改善について話し合いました(詳細をお知りになりたい方は下記の連絡先にご連絡下さい。資料をお送りします)。参加者は40代から70代の男女10名でした。話し合いの結果、今後も継続的に調査を行い、実測結果を蓄積して行くことに決まりました。懇談会後に行ったアンケート結果は左記のようになっていきます。

懇談会後のアンケート結果

- ・ 実測結果を蓄積するためにも、継続して計測していくことが必要だと思ふ。
- ・ 実測調査結果を利用し、住みよいマンション作りを行いたい。
- ・ 実測結果は資料だけではわからないことがあったが、本日の説明を聞いてよくわかった。それと同時に自分の住んでいる所の住環境を理解することは大事だと思ふ。
- ・ 住民の皆様で二酸化窒素や騒音の結果を出せたことは大変良かったと思ふ。
- ・ 改めてこのマンションは住み易いのではないかと思ふ。
- ・ 実測とシミュレーションの相関をもう少し出してもらえればさらに興味深いものになると思ふ。
- ・ 実測結果より、バイパス沿いの1号棟が最も高い二酸化窒素濃度であることが分かった。バイパスから大気汚染の影響を受けていることを再認識した。

担当学生紹介



初めまして！
三浦研究室の
4年の水野真
吾です。実測

のときのサポートなどで皆さんにお世話になると思ふます。また、たびたびマンションにもお伺いします。そのときはどうぞよろしくお願ひ致します。最後にこの新聞がたくさんの人に読んでもらえること、そして住環境について少しでも興味を持っていただけたらいいと思ふます。



初めまして。
三浦研究室
4年の仲間
剛と申しま

す。住民の皆様と協力して住環境について考えていきたいと思ふています。実測や懇談会では顔を合わせますので宜しくお願ひ致します。この新聞を通して住民の皆様が三浦研究室が現在どのような事をやっているかを伝える事が出来ればよいかと考えています。

《お問い合わせ先》

芝浦工業大学
システム工学部 環境システム学科 三浦研究室
〒337-0003 埼玉県さいたま市見沼区深作 307
TEL/FAX 048(687)5832 (月～金 11時～18時)
Email : r00056@sic.shibaura-it.ac.jp
教授 : 三浦 昌生
担当学生 : 仲間 剛・水野 真吾
http://www.mmlab.se.shibaura-it.ac.jp/



自治会長 渡辺昭平
LM住環境新聞の発刊にあたって、一言ご挨拶を

申しあげます。昨年芝浦工業大学三浦研究室の皆様方より、私達への住環境測定とアンケート調査の集計結果を発表していただき、あらためて西大宮バイパスによる騒音と二酸化窒素の測定値の高さなどに大変驚かされました。これもひとえにマンション居住者の皆様

地区住環境プランを 作っていきましょう

皆様は自分の住んでいる町をどのようにしたいと思つていらっしゃるでしょうか。大気汚染のないきれいな空気に包まれている町、騒音に悩まされることもなく静かに眠れる町、夜も一人で安心して散歩が出来るように街灯が完備された町など、人それぞれ考えは色々あると思ひます。地区住環境プランとは、皆様が現在どのようなたに住んでいるのかという事を昨年の実測調査結果やアンケート結果をもとに把握し、その上で皆様がいちいち描いている町について話し合い、具体的な計画を立てていくことです。このような住環境プランは市や県などの行政では数多く作られていますが、自治会独自の住環境プランはこれまでに作られたことはありません。皆様

よりよい住環境を目指して、自治会長からの挨拶

二酸化窒素とは？
昨年三浦研究室では皆様にかぶセルを配布して二酸化窒素濃度を計測していただきました。そこでいったい二酸化窒素とはどんなガスなのでしょう？二酸化窒素は工場の煙突や自動車など、物が燃焼するときに発生します。基準値を超えるとぜん息症状になる子供が圧倒的に増え、大人もたんが出やすくなり、人体に大きな悪影響を与えるガスなのです。

第1号

2003.7.29
発行
《製作者》
芝浦工業大学
三浦研究室
4年 仲間剛
4年 水野真吾

【新聞の発行にあたって】
このLM住環境新聞は、住民の皆様が住環境に対する興味を持っていただきたいと思ひ、発行しています。この新聞は隔月で発行する予定です。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

What is 三浦研究室?

私たち三浦研究室ではLM大宮指扇の住環境改善に役立たせるために、実測以外にも様々な事に取り組んでいます。そこで少しでも研究室のことを知っていただければと思います。現在の活動内容を担当者のコメントと一緒に紹介したいと思います。また、LM大宮指扇の住環境以外にも様々な地域で活動をしているので紹介します。

☆住環境改善行動に関する事例収集



関 創平(4年) 写真右
鶴見 英大(4年) 写真左



私たちは研究室で取り組んでいるのは、「住環境改善事例研究」です。住民自らの手で取り組まれてきた全国の住環境改善活動の事例を収集することによって、住民の方々がどのように自分たちの地域の住環境を改善したのかという活動の経緯を知ることが出来ます。その事例を他地域の住民の皆様に紹介することによって、住環境の改善に役立てていただくという研究です。書籍や新聞、インターネットなどさまざまなものから事例を収集しています。まだ研究はスタートしたばかりですが、少しでも住環境の改善に役立つような研究にしていきたいです。

☆シミュレーション研究



桜井 修(4年)

僕は数値流体シミュレーションについての研究をやっています。簡単にいうとプログラムを使って対象地区にどのように風が吹くかシミュレーションを行います。その結果を踏まえて何らかの対策を考え、結果を住民の皆様に分かりやすく見て頂くためにはどうしたらいいかなどを研究しています。まだ研究を始めたばかりで戸惑うことが多々ありますが、早く使いこなせるようになりたいです。

☆LM大宮指扇以外の研究内容

現在、三浦研究室ではLM大宮指扇の他に川口市の伊刈地区と葛蒲町の寺田団地でも同じように研究を行っています。また、今年から対象地区を一つ増やし、住環境改善の輪を広げていく予定です。さらに海外では、三浦研究室の一期生の久保田徹が国立マレーシア工科大学で研究員として「東南アジアにおける風通しを考慮した住宅地計画手法に関する研究」を今年の4月から始めました。また、大学院の修士課程2年の3名が8月からクアラルンプールの住宅地にて住環境についての実測やアンケート調査を行います。三浦研究室はグローバルに活躍しています。(詳細は裏面下のホームページアドレスにて)

計測に参加してみませんか?

三浦研究室では地域の住環境と一緒に計測していただけの方を募集しています。現在の時点では何を計測するかはつきりと決まっていますが、決まり次第、募集を行います。ちなみに去年は二酸化窒素と騒音を計測しました。計測と言ってもそんなに難しい作業というわけではありません。実際に実測に参加した方々からは「こんなに簡単だとは思わなかった」とい

う感想が多かったです。与えられた結果だけを見るのと、実際に自分で測った結果を見るのでは、また違った見方ができると思います。自分たちの住んでいる住環境に興味がある方や、どうやって実測をしているのだろうといった実測方法に興味を持った方、計測機器を実際に使って自分の住んでいる住環境を実測してみたい方など積極的に参加していただければと思っています。

三浦先生からの挨拶



皆さん、こんにちは。大変ご無沙汰しております。昨年度はアンケートや懇談会を通じていろいろなご意見をお聞かせいただき誠にありがとうございました。今年は仲間、水野がお付き合ひさせていただきます。こうした調査は一年で終わらせないで続けることに価値があると思います。西大宮パイパスからの環境影響に何らかの対策を講じることを含めて、今年度はライオンズマンション大宮指扇自治会版「住環境憲章」や「住環境プラン」を作りませんか。

お久しぶりです!

昨年度担当者からのメッセージです



伊和 肇史
日立電子サービス(株)勤務

昨年LM大宮指扇の皆様と住環境実測調査をさせていただきました。状況です。今はコンピュータ関係の会社に入社し、毎日研修におわれています。昨年の研究では住民の皆様にご協力いただいた、二酸化窒素濃度の実測調査のためにカプセルを作るのがすごく大変だったの覚えています。これからも地域の住環境をより良くしていくために頑張ってください。



堀 静香
慶応大学大学院修士課程1年

昨年は大変お世話になりました。私は現在、大学院で環境を考慮した快適な空間について研究しています。LMでは「空気の汚れ」実測の際に皆様からカプセルを外して下さっている音がベランダから次々と聞こえ皆様のご協力を感じて感動した事や、元気いっぱいの子供たちと接した事など、心に残る事ばかりでした。住民の皆様とともに環境を考えていくことができて本当に良かったと思います。より良い指扇を目指して、今後ともご協力よろしくお願い致します。